

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

～ *JAIPA* ～

ご紹介

<https://www.jaipa.or.jp/>

2024年11月



一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会は、1999年12月に設立され、以降現在に至るまで、日本のインターネットの発展と共に歩みを進めてまいりました。

インターネットプロバイダーは、全国各地での社会生活、経済活動を支えるインターネット接続を担う事業者としてお客さまに寄り添い、課題の解決に取り組んでいます。また近年ではブロードバンドでの通信の高速化、データの大容量化に伴い、クラウド事業者としてICT基盤の提供を通じ、社会の発展に寄与しております。

今後固定やモバイルにおける通信の更なる進展に加え、世界的な環境変化に伴う企業のDX、SDGsへの取り組み、およびAIやIoTを活用した新たな事業機会等の創出におけるインターネットの役割はますます高まっております。

このような中でインターネットが引き続き公共のインフラとしてあり続けるために、お客さまが安心・安全に利用でき、また各事業者が公平な競争環境のもとで活動して行けるよう、業界として課題の解決に取り組んで行く事が求められております。

当協会では全国各地150社を超える加盟企業と緊密に連携しながら、タイムリーに情報収集・発信を行い、インターネットの健全な発展、日本全国に於けるICT産業の活性化に貢献して参りたいと考えております。

関係各位のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
会長 久保 真

主にインターネットプロバイダーからなる日本で唯一の業界団体です
JAIPA会員は、

■ インターネット接続サービス(ISP) 事業者

■ クラウド、ホスティング事業者

■ 上記に対してセキュリティや情報通信インフラ構築等の各種サービスを提供する事業者

など、インターネット関連事業者で構成されています

設立

1999年12月

会員数

152社（正会員 149社 賛助会員 3社）

ホームページ

<https://www.jaipa.or.jp/>

住所

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F

連絡先

TEL : 03-5304-7511
FAX : 03-3379-5530

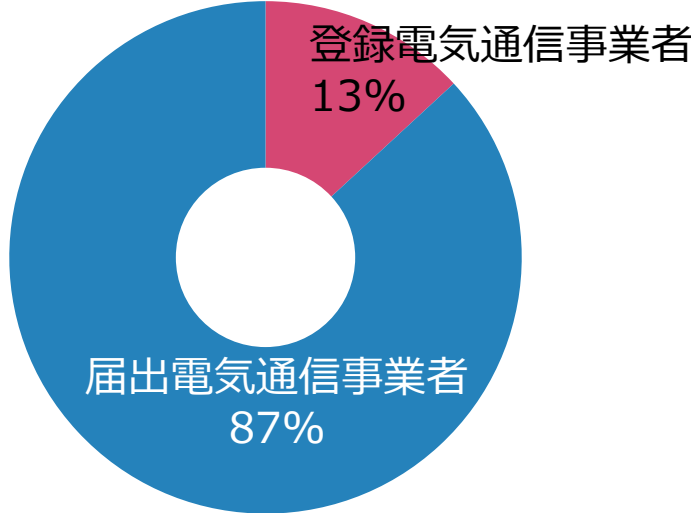
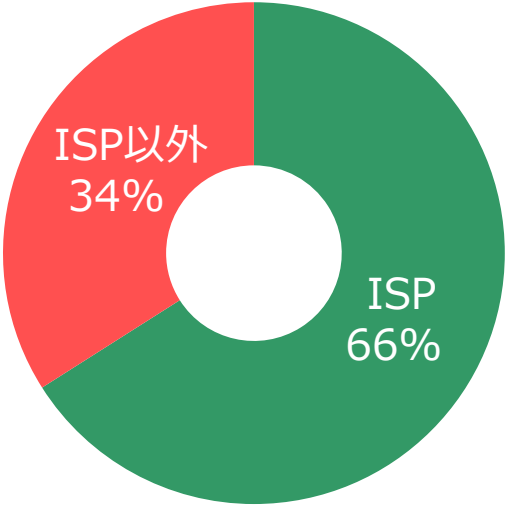
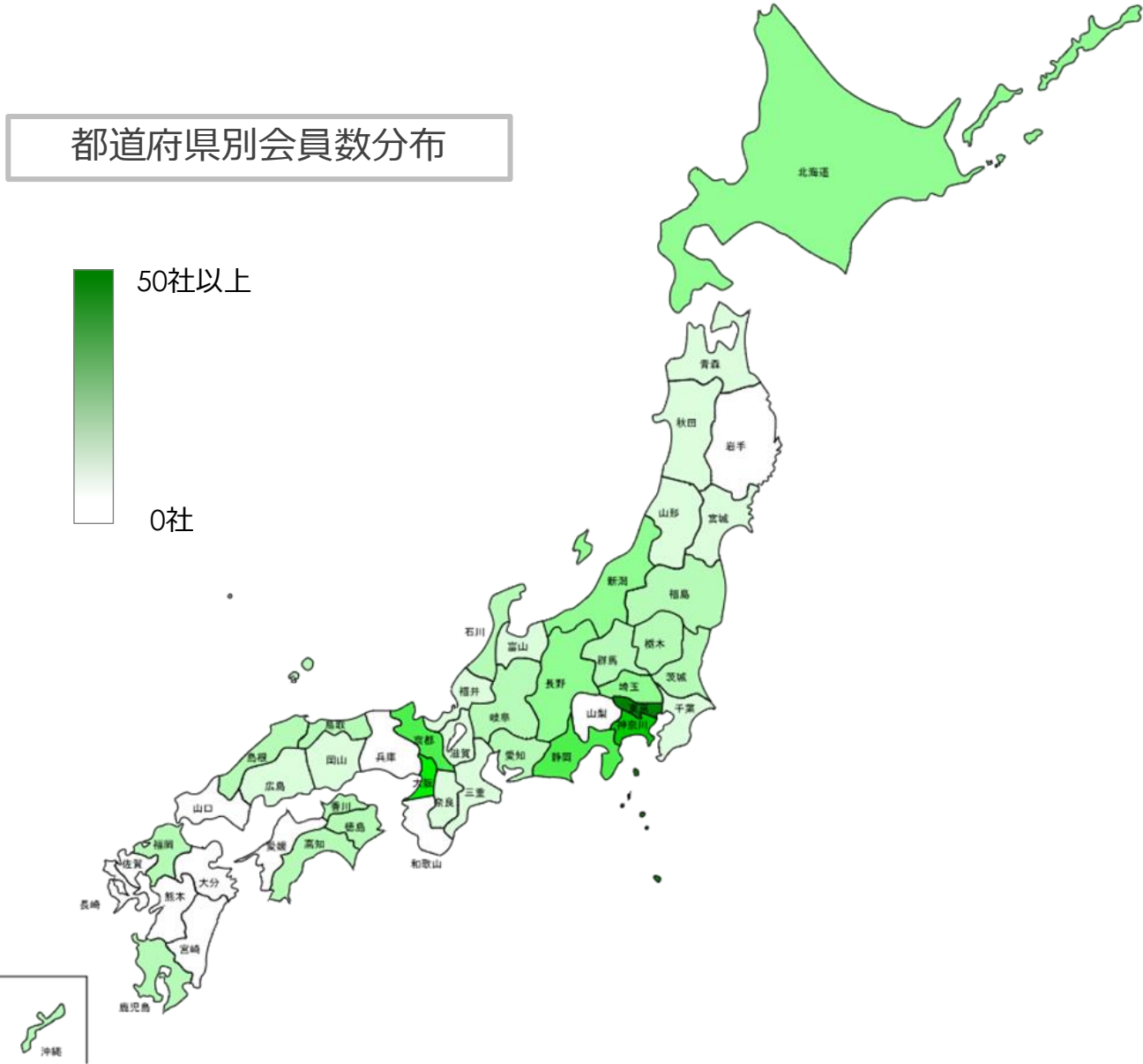
E - mail

info@jaipa.or.jp

活動内容

- 年次総会、理事会
- 運営委員会
- 部会、ワーキンググループ
- 総務省研究会参画（意見書、プレゼンテーション）
- 業界統計情報の収集、分析、会員企業への情報提供
- 各種イベントを通じた会員同士の交流・情報交換機会の提供

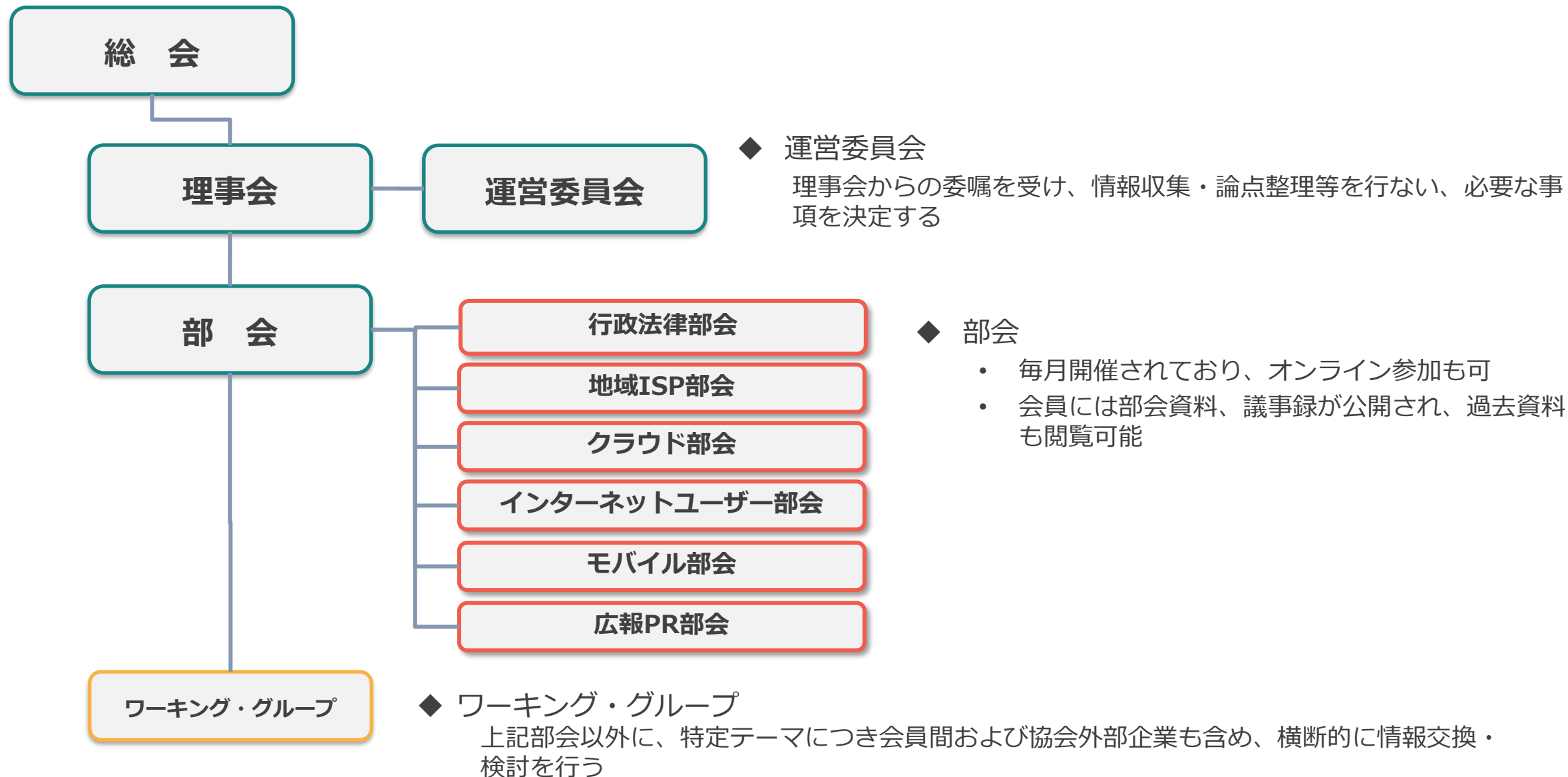
都道府県別会員数分布



■ 会長	久保 真	ビッグロブ株式会社
■ 副会長	西山 裕之	GMOインターネットグループ 株式会社
	立石 聡明	有限会社マンダラネット
	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社
■ 専務理事	立石 聡明	有限会社マンダラネット
■ 常任理事	小畑 至弘	IoT-EX株式会社
	今野 仁史	イーブロードコミュニケーションズ 株式会社
	晋山 孝善	ジェットインターネット株式会社
	竹内 勝幸	株式会社シナプス
	中村 俊克	株式会社TOKAIコミュニケーションズ
	中山 いその	株式会社フューチャーネットワーク
	濱谷 規夫	ソフトバンク株式会社
	早瀬 聡	KDDI株式会社
	福智 道一	BBIX株式会社
	横田 洋人	株式会社アットアイ

■ 理事	井上 太郎	彩ネット株式会社
	大津 康治	リーネットワークコミュニケーションズ 株式会社
	大槻 祐	アルテリア・ネットワークス株式会社
	藤嶋 久	NTTコミュニケーションズ 株式会社
	永田 勝美	株式会社NTTドコモ
	野口 尚志	EditNet株式会社
	本間 誠治	株式会社新潟通信サービス
	松岡 伸介	合同会社Double A One
	松本 昇	株式会社シーエスファーム
	宮内 正久	KROW株式会社
	村田 篤紀	合同会社DMM.com
■ 監事	秋山 卓司	クロスモバイル株式会社
	植田 裕之	株式会社ネットフォレスト
	中野 雄一	株式会社エヌディエス

理事25名 監事3名



● 行政法律部会

部会長：野口（EditNet株式会社）

協会会員への情報提供などを活動の中心として参ります。そして事業者団体が中心になって活動をしている会議や、総務省主催の会議が多数有り、本部会の主要メンバーが参加していることから、そこでの活動を部会の皆様方にお知らせし、意見交換を行い、勉強会などを開催し、行政等に意見をまとめて発信したいと考えております。

● 地域ISP部会

部会長：竹内（株式会社シナプス）

地域でISPを行っている事業者を中心として活動しています。月1回の部会では、遠方からも毎月多数参加していただき意見交換を含めた情報共有をしております。また、部会に参加できないところでも積極的に参加できるように毎年2～3回の「JAIPAの集い」を開催し、毎月の会議で課題にあがったものを検討し、ディスカッションをして解決策を見出しております。集いではその開催地での問題点や新しい取り組みを紹介していただき、常に各地域の情報交換を行っております。最近では地域だけでなく大手ISPの参加者も多くなっています。

● クラウド部会

部会長：青山（GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社）

インターネットの日常社会への浸透が進み、その利用形態も情報収集だけでなく、コミュニティへの参加、情報の発信など、幅を広げています。ホスティング事業も急速な発展を続けており、クラウド事業に参入する事業者も多くなっています。利用者からのサービスに対する要求も大きく、その課題に対して取り組み、利用者へもわかりやすく活用できるよう検討。そして、セキュリティのように日々進化している事への対応を他団体と連携し「クラウド」を中心に運用面、技術面等を含めた検討をして参ります。

● インターネットユーザー部会

インターネットは普及と促進が進み、情報交換や収集だけでなく、生活や教育・娯楽においても必要不可欠なものとなり、その在り方を見直しされております。

安心・安全にインターネットが利用できる市場・環境の実現に向けて各々が出来る事の共有や疑問の解決を行っています。総務省の消費者保護対応の研究会にオブザーバ参加し改正される消費者保護対応の事前共有や意見表明をしております。

消費者団体とも勉強会や意見交換を実施し、利用者の苦情削減に向けた対応を行っています。

● モバイル部会

部会長：北村（株式会社日本レジストリサービス）

ビジネスモデル、収益構造がISPに近いことや、現在MVNO市場は成長市場となっているため、プロバイダーの新たな収益事業開拓として必要では無いかとのことから、移動体の知識、ノウハウを蓄積し、情報交換・協業の場を作って行こうと思っております。今後は、移動体市場全般に関する情報共有、会員のMVNO事業参入の支援、モバイルに関する政策提言などを通じた行政、MNOへの働きかけ、MVNO事業者への要望等の検討、端末に関する情報交換を行います。

● 広報PR部会

部会長：橋本（ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社）

JAIPAの広報活動の強化を目的として、新たな会員企業の加入促進・JAIPAの活動基盤の強化・会員各社の事業活動のサポート等につなげられるよう、活動を推進しています。

- イベント広報：「JAIPAの集い」「沖縄ICTフォーラム」等、JAIPA主催のイベントの事前告知、実施報告書の作成
- Web・SNS・会報誌等での情報発信：業界動向・政策協議・セキュリティ関連・その他各種問題等、消費者向け・業界向けのアナウンスや啓蒙を促す情報発信の強化

● ゲーム・エンタメNW接続性課題検討ワーキンググループ

インターネットの光回線は急速にIPv6化が進んでいますが、家庭でオンラインゲームがスムーズにできないケースも増えています。その原因は例えば通信を担っているISPやVNE、ゲームベンダー、ルーター機器メーカー単独では解決できず、複雑に絡み合っているのが現状です。自宅のネットワークがIPv6でゲームのコンテンツがIPv4で作られている場合、IPv4overIPv6という技術を使って通信しますが、V4とV6を結ぶ設定値やリソースの関係でログインできない、突然切断されるなどの現象をひとつずつ検証し解決していく取り組みを行なっています。

● IGF2023ワーキンググループ

国連が主催するグローバルの会合であるインターネット・ガバナンス・フォーラム（IGF）は2023年日本での開催が予定されています。同会合において我が国通信業界として様々なインターネットガバナンスを紹介し、国際間の理解促進および対外的な情報発信につなげるべく、JAIPAにおいても海賊版対策とブロッキング、IPv4/IPv6 共存技術の課題、インターネット上の誹謗中傷問題などをプログラムのセッションのテーマ候補として提案して行く活動を行なっています。

● GIGAスクール構想支援ワーキンググループ

学省GIGAスクール構想の実現において、児童生徒が安定したネットワーク環境でICTを活用した学習を行えるようにするため、各学校設置者が自らのネットワーク環境の構築を構築事業者や保守事業者と相談する際の確認事項をネットワークアセスメント項目として整理しました。またJAIPA会合などで学校関係者と各地域現場の現状および課題の共有、解決の検討を行なっています。

● コンテンツ・CDNトラフィックワーキンググループ

- ISPフレンドリーなCDNのトラフィックを健全にユーザーまで届けるコンセンサス作り
 - CDN以外にも大量のトラフィックが生じるプラットフォームとの情報交換、コンセンサス作り
 - CDN事業者がISPフレンドリーなトラフィック制御を実施していくための啓蒙活動
 - コンテンツ発信元に上記ISPフレンドリーなCDNを活用していくための情報提供・啓蒙活動
- 上記を実現していくためのコミュニティを醸成し技術・運用における情報交換を活発に行なっています。

● 低炭素社会実現計画ワーキンググループ

COP21パリ協定に基づく政府の地球温暖化対策計画の一環として、JAIPAも業界団体自主行動計画として「低炭素社会実行計画」を2016年12月に策定しました。2017年2月に日本経団連低炭素社会実行計画WG（その後カーボンニュートラル行動計画に名称変更）参加し、毎年9月に調査を行い日本経団連に対して年度ごとの実績データを提出しています。

● アクセス網ワーキンググループ

IPv6普及・高度化推進協議会（2024年3月活動終了）アクセス網IPv6サービス導入推進SWG及びIPv6社会実装推進タスクフォース（2024年3月活動終了）を引き継ぎ、従来からの活動内容の継続とともにより幅広くアクセス網に関わる情報・課題を収集し、情報・意見交換を行っています。アクセス網SWG、家庭用ルータSWG、ISP・ルータメーカー連携SWGの3つのSWGから構成されています。

● AIワーキンググループ

2024年に発足した新しいWGです。以下の通り、活動を行っていきます。

- AIにおけるインターネットビジネスの影響を洗い出し、対応方法を検討する
- WGのみで閉ざさず、既存の部会とも協力して活動することにより効果的に成果を出す
- AIを活用した既存ビジネスと親和性のある新規ビジネスの創出およびコスト削減、自動化の検討、データの利活用方法コンテンツ発信元
上記ISPフレンドリーなCDNを活用していくための情報提供・啓蒙活動を行う
- 共有できる情報を積極的発信し、業界全体の活性化および参加企業各社の取り組みへの活用を図る

総務省

日本における情報通信政策を所轄。通信事業規制官庁でもある。



政策は総務省と業界団体との間の議論を通じて形成される

電気通信関連の4 業界団体

電気通信事業者協会	JAIPA	テレコムサービス協会	日本ケーブルテレビ連盟	ICT-ISAC
固定及び移動体通信 キャリア	ISP、ホスティング、 データセンター、クラ ウド事業者など	電気通信事業者、情報 通信事業者	ケーブルテレビ事業者	JPNIC ICSA 安心協



違法情報等対応連絡会

電気通信サービス向上推進
協議会

プロバイダ責任制限法ガイ
ドライン協議会

安全安心マーク推進協議会

ファイル共有ソフトを悪用
した著作権侵害対策協議会
(CCIF)

電話事業者認証機構
(ETOC)

- 電気通信事業ガバナンス検討会
- ネットワークの中立性に関する研究会
- ブロードバンド基盤の在り方に関する研究会
- 接続料の算定等に関する研究会
- ICTサービス安心・安全研究会
- インターネット上の海賊版サイトへのアクセス抑止方策に関する検討会
- 発信者情報開示の在り方に関する研究会
- 電気通信事業におけるサイバー攻撃への適正な対処の在り方に関する研究会
- インターネットのサービス品質計測等の在り方に関する研究会 等

- 帯域制御の運用基準に関するガイドライン検討協議会
- プロバイダー責任制限法ガイドライン等検討協議会
- IGF Japan (Internet Governance Forum)
- インターネットコンテンツセーフティ協会
- 違法情報等対応連絡会
- インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会
- 電気通信サービス向上推進協議会
- インターネットの安定的な運用に関する協議会
- 安心ネットづくり促進協議会
- 情報通信における安心安全推進協議会
- IPv6社会実装推進タスクフォース
- 迷惑メール対策推進協議会 等

発表日	意見書内容
2024年9月10日	<u>「情報通信審議会電気通信事業政策部会通信政策特別委員会（第16回）事業者ヒアリング 説明資料」</u>
2024年7月29日	<u>「接続料の算定等に関する研究会 第八次報告書（案）」及び「トラヒック・ポンピングの発生に係る着信インセンティブ契約に関する業務改善命令の適用に関するガイドライン（案）」に対する意見を提出</u>
2024年4月16日	<u>「開通工事等に関する要望事項」</u>
2024年3月28日	<u>「公正競争WG 第5回事業者ヒアリング資料」</u>
2024年3月27日	<u>「ユニバーサルサービスについて」</u>
2024年3月25日	<u>「地方の実情」</u>
2024年3月12日	<u>「東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見募集の結果及び再意見募集（令和6年度の接続料の改定等）の意見を提出」</u>
2024年2月21日	<u>「東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見を提出（令和6年度の接続料の改定等）」</u>
2024年2月1日	<u>「NTT東西による卸検証結果について」</u>
2024年1月22日	<u>「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方 論点整理（案）」に対する意見を提出</u>
2024年1月22日	<u>「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方 第一次答申（案）」に対する意見を提出</u>
2023年10月19日	<u>「情報通信審議会 電気通信事業政策部会 通信政策特別委員会（第7回）」において、プレゼンを実施</u>

発表日	意見書内容
2023年9月19日	<u>「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方に関する提案募集」に対する提案を提出</u>
2023年8月7日	<u>「電気通信事業分野における市場検証に関する基本方針（案）」に対する意見を提出</u>
2023年7月31日	<u>「接続料の算定等に関する研究会 第七次報告書（案）」に対する意見を提出</u>
2023年7月3日	<u>「IPネットワーク設備委員会 報告（案）」に対する意見を提出</u>
2023年6月26日	<u>東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見を提出</u>

● 業界内当事者が一同に集まり 情報交換する場の開催

- JAIPAの集い
- 沖縄ICTフォーラム
- JAIPA Cloud Conference

● 国内外の機微な情報セキュリティなど最新の動向取得

- JPCERT/CC セキュリティ情報交換会
- セキララ会（クローズド）
- NISC ニュースレター

● 行政・大手アクセスキャリア からの会員向け説明会

- 政府情報システムセキュリティ評価制度説明会
- 総務省、NTT東西からの各種説明会

● 海外事例の把握

- 海外の通信団体を訪問し先方の国での事例・法令を把握
- モバイル部会を中心に、香港、台湾等を視察



- 全国各地にて年に1-2回の頻度で開催、現在まで58回開催
- JAIPA会員企業、開催地企業、NTT・行政関係含め各回参加者多数

インターネットに携わる事業者が一堂に会し、日頃の課題等を検討して参加される方々が次のステップに行けるような情報交換、共有をして活発な意見交換が出来る場を提供しております。また、開催地の活動を来場者にご紹介する場にもなっております。

【直近の開催】

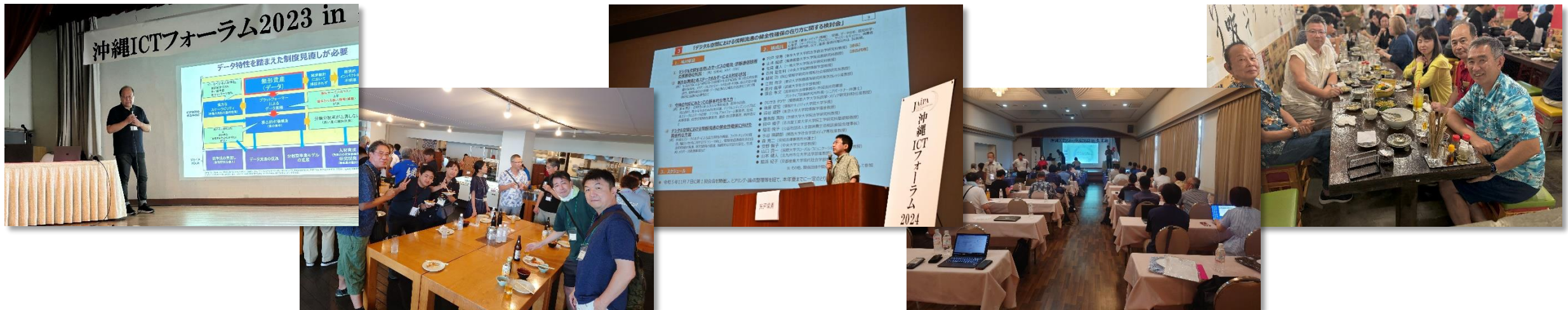
- 2024年10月 金沢 <https://www.jaipa.or.jp/report/report/docs/241024-25kanazawa.pdf>
- 2024年5月 鹿児島 <https://www.jaipa.or.jp/report/report/docs/240516-17kagoshima.pdf>
- 2023年11月 盛岡 <https://www.jaipa.or.jp/report/report/docs/41e618539eca26651aaadf7274b9865b1181bd7d.pdf>
- 2023年6月 壱岐 <https://www.jaipa.or.jp/topics/2023/06/55jaipain202352526.php>



- 年に1回、離島を中心に沖縄各所で開催
- JAIPA会員、開催地企業、NTT・行政関係その他、含め毎回100名以上が参加

- ・ 2024年 7月 石垣島 <https://www.jaipa.or.jp/topics/2024/06/ict2024in.php>
- ・ 2023年 7月 久米島 <https://www.jaipa.or.jp/topics/2023/07/ict2023in.php>
- ・ 2022年11月 東大東島 <https://www.jaipa.or.jp/topics/2022/10/ict2022in.php>
- ・ 2021年11月 名護 <https://www.jaipa.or.jp/topics/2021/11/ict2021in.php>
- ・ 2020年11月 久米島 <https://www.jaipa.or.jp/topics/2020/11/ict2020in.php>

※ 過去の開催回の情報はこちら：<https://www.jaipa.or.jp/topics/event/okinawa-ict/>



CLOUD CONFERENCE 2024 Presented by JAIPA

2024年の実績 (2024年9月10日開催)
九段会館テラス コンファレンス&バンケット

申込数

866人

昨年1,174人

満足度

93%

昨年93%

申込者の役職率

※係長以上の役職

61.7%

昨年55.8%

スポンサー

55社

昨年45社

後援団体

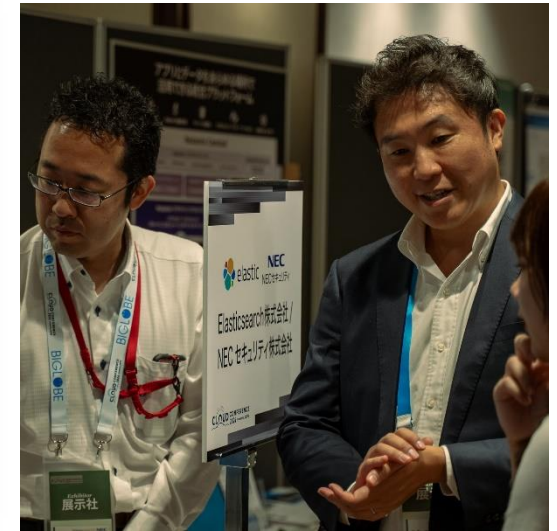
17団体

昨年21団体

メディアスポンサー

2媒体

昨年5媒体



参加者の声



毎年参加しています。
宣伝臭が少ない内容のあるセッションが
多く、高く評価しています。



実際の攻撃手法を用いたセッションは
なかなか聞く機会がないため、非常に
勉強になりました！



奇しくも生成AI実装が日本で本格始動し、
様々なケースからヒントをいただいております。
業界に偏りが出してしまうので、今回の
国からのアプローチは助かりました。

CLOUD CONFERENCE 2024 Presented by JAIPA

お申込みはこちら >

- IGF Japanを主催(2010～)
- JPNICとともにJAIPA IGFを形成
- APrIGF（アジア太平洋地域のIGF）を主催（2012年）
- グローバルIGFへも参加
- ICANN総会などにも参加
- 2022年IGFエチオピアに参加
- 2023 京都 日本で初めて開催されたグローバルIGF会合
に出展、サイドイベントを開催



*IGF（インターネット・ガバナンス・フォーラム Internet Governance Forum）とは、インターネットガバナンスの問題に関し、マルチステークホルダー（市民社会、民間、政府、技術コミュニティ、NGO 等各界関係者）間で政策対話を行う、国際連合（以下、国連）管轄下に設置されているフォーラムです。世界会合や地域、国ごとの会合が毎年各地で開催されています。

業界動向をタイムリーに把握し、自社にて環境変化・政策を踏まえた事業活動に役立てることができる

協会のアンケート・調査活動を通じて他会員企業の事業活動への取り組みを客観的に把握、理解できる

各種イベント・交流活動が充実しており、自社および参画社員のネットワーキングに役立てることができる

イベントの委員会等への若手参画により、個社では得難い人脈・ノウハウなど人材育成に役立てることができる

部会のメーリングリストに質問することで、他の会員企業からタイムリーかつ的確なコメントを得られる

自社の困りごとなど、事務局に相談する事で適切なサポートや関係者の紹介をしてもらうことができる

政策やステークホルダーとの交渉にて反映が難しい個社の課題を、協会意見として主張・反映できる

JAIPAの活動を地域行政や事業者に紹介することで、取引先などから自社への理解を深めてもらうことができる

など、多くのメリットがございます

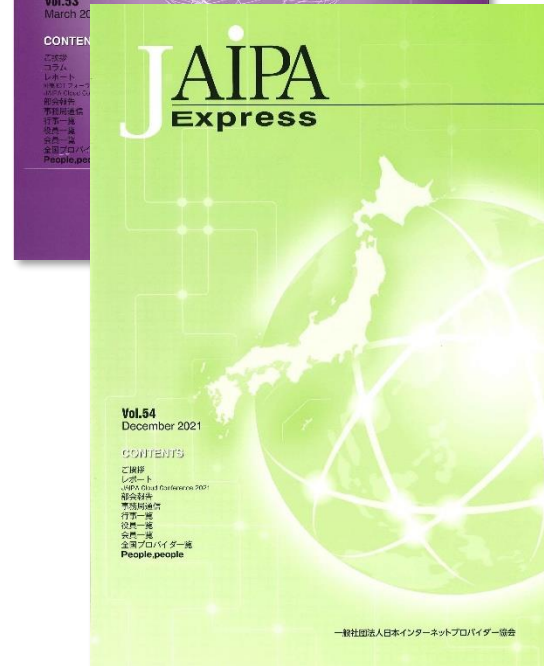
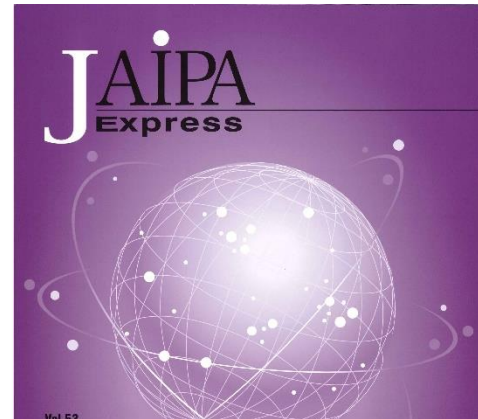
JAIPA Express

<https://www.jaipa.or.jp/book/>

■ 発行頻度：年2回程度

■ 掲載内容：

- 主催イベントのレポート
- 部会活動報告
- 会員企業紹介
- 行事一覧
- 役員一覧
- 全国プロバイダー一覧
- その他



会員紹介

株式会社まほろば工房

この度、日本インターネットプロ
ダ、ありがとうございます。
当社は、SI/IT事業として、サー
活用した構築支援に加え、音声ソリ
等を利用した自動音声サービスで
SI/IT事業の一つとして行っている
VoIPを中心、様々なISP・データ
また、自動音声サービス「Symph
だいています。
JAIPAでは、会員の皆様と交流を
からどうぞよろしくお願いいたします

■株式会社まほろば工房の概要
<https://www.atemahoroba.jp/about>
※お問い合わせは、上記Web「お問合せ

MAHO-PBX 総機・1
NetDevance

日本から話す事が苦手な人無くし
受講者満足度99%！企業研修600社5

この度、日本インターネットプロ
弊社は、アナウンサー40名が主
多くのIT業界の皆様方をはじめ
評を頂いて参りました。ご自身の
豊富なカリキュラムをご提供して
基幹、皆様方のお持ちの専門知識
においても、皆様との交流を深めな
でございます。これからどうぞ宜し

■会社概要
社名：株式会社 KEES (キーズ)
企業紹介 方研修・マンツーマンレ
無料体験承っております

■お問合せ
TEL：03-6721-9637 (法人営業部直
Mail：kees@kees-net.com
HP：http://www.kees-net.com

12 JAIPA Express

レポート

沖縄ICTフォーラム2020in久米島 開催報告書

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2019-07/20201019.php>

開催日：2020年11月19日（木）～20日（金）
11月18日（水）セキヤラセ（招待制）
場所：久米島 イーフプラザ
〒901-3108 久米島町字比嘉160-57
参加資格：JAIPA会員
主 催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
協 賛：・楽天株式会社
・インターネット接続サービス安全・安心マーク
推進協議会

参加費：無料
参加人数：55名（現地参加46名、講師リモート参加9名）

■プログラム
11月19日（木）
09:00-09:50 (50) 公開
「業界打撃のインベシジョン IOWN構想について」

日本電信電話株式会社 常務執行役員研究企画部長
川添雄彦 氏

現在、我々人類が所有しているICT技術は未だの危機を
予備し人類の存続の危機を克服するためには明らかに不十分
であり未だである。また、インターネットのトラフィックや
IoTデバイスで集められる通信量は増加の一途をたどってい
る。そして、今回のCovid-19で、さらに加速している。その
ため持続可能な技術革新に向けてICT基盤全体の革新を目指す
IOWN構想を発表した。本講演では、ネットワーク構想
「IOWN」、その具体的な進捗について、ご紹介する。

09:50-11:20 (90)
「大改正 発行者情報開示制度」
総務省総合通信政策局 電気通信事業部消費者行政課二
課長 小田久仁子 氏

東京大学大学院 法学政治学研究科 教授 3F客席 氏
戸田総合法律事務所 弁護士 中澤仙一 氏
読売新聞 編集局 編集委員 若江雅子 氏
奥知法律事務所 弁護士 森 亮二 氏

11:20-12:05 (45) 公開
「コロナ時代のサイバー攻撃」
NTTデータ・サイバーセキュリティ・ストラテジスト
松原実穂子 氏

新型コロナウイルスの感染拡大に際し、医療機関や研究機
関・学校へどのような手口のサイバー攻撃が何を目指して
行われているか説明する。また、今年の春に大規模なサイバ
ー攻撃を受けた中、リモートでサイバーセ
キュリティを確保することとなり、どのような新たな課題や
脅威が待っていたのかについても議論したい。

12:05-13:00 (55) 重要情報：お弁当は事前にご注文され
た方への配布となります。

13:00-14:30 (90) 一部公開
「2020年のabuse対応を取り巻くよもやま話」
一発屋情報開示・フィッシング対策・コロナ関連」

さくらインターネット株式会社 山下雅一 氏
ICT-ISAC SANARWG 主催代行 藤原 昌 氏

NTTコムエンジニアリング株式会社 近藤和弘 氏
今年もabuse対応に関しいろいろな話題がありました。各
社でabuse/セキュリティ対応を行っている4人のそれぞれ
の立場で今年のabuse対応を振り返ります。



14:30-15:00 (30) 一部公開
「ICT-ISACの観測システムを使用した取組」
一発屋から見たことと対応課題について

一般社団法人ICT-ISAC 事務局次長 青藤和典 氏
「コロナ時代のサイバー攻撃」
ICT-ISACでは、様々な観測システムを活用しています。
観測システムとその観測結果の一例を紹介するとともに観測
結果を利用するにあたっての課題について説明します。

6 JAIPA Express

